

人間教育としての思春期保健福祉体験学習

平成9年から現在まで、体験学習の講師を務めてくださっている松田順子さん。幼児教育を専門とする大学教授として、県の教育委員会委員として、数多くの子育てに関する教育現場を見てきた松田さんに、国東市の思春期保健福祉体験学習の取り組みについてお聞きしました。



東九州短期大学 特任教授
大分県教育委員会 委員
松田 順子さん

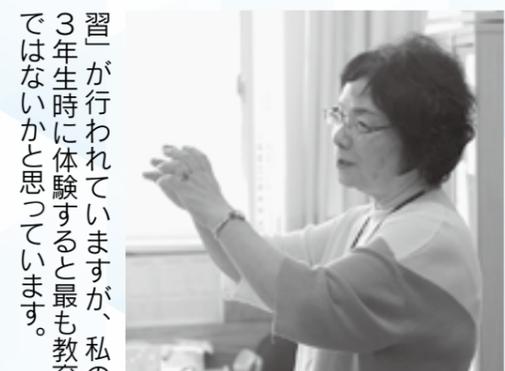
国東市の思春期保健福祉体験学習の特徴を教えてください。

現在では、小中高生における「乳幼児とのふれあい体験学習」は日本中どこでも行われています。国東市の取り組みで特徴的なところは、地域、学校、行政ががっちり連携して体験学習が行われていることです。具体的には、市の保健師さんと学校の先生、そして私のような大学教授が協力して、内容の濃い体験指導が市内すべての中学校で行われています。加えて、生徒が地域の母子と直に触れ合っており、さらに保健センターや保育施設ではなく、中学校の校内（※平成26年より）で体験学習が行われていることも特筆すべき点です。このような充実した取り組みをしている自治体は、私が知る限り

では思い当たりません。私は旧国見町の時からこの体験学習に関わってきたこともあり、第2次国東市総合計画の委員をお引き受けしていました。会議で、「この素晴らしい取り組みをぜひ市をあげて実施してください」とお願いしたところ、みなさんから大きな賛同が得られました。今は国見中だけでなく、市内全ての中学校での実施が実現して嬉しく思います。

思春期における赤ちゃんとの触れ合い体験はなぜ必要なのでしょう。

思春期に赤ちゃんに触れ合うことは、命の大切さや家族の大切さについて考える機会となり、父性母性を養い、生徒の将来に良い影響をもたらすといわれています。近頃、父親母親になつていく人たちは、兄弟が少ないこともあり、赤ちゃんとの触れ合いを体験しないまま親になっていくことが珍しくありません。なぜ赤ちゃんは思い通りにならないのかと困惑して、ひどい場合は虐待につながる。子どもは子どもでもそうした親の言動を敏感に察知し、心がすさみ、他人に優しくできなくなる。自分自身の未来の子育てに対する良いイメージも湧かない。このようなことを防ぐためにも、赤ちゃんとの触れ合い体験が学校現場で重要視されるようになりました。実際にこの体験学習を受けた生徒の体験前と体験後のアンケートを見比べてみると、見違え



思春期保健福祉体験学習に長年関わられての感想をお聞かせください。

まだ初期の頃でしたが、講義をしたクラスに髪を染めている男子生徒がいて、担任の先生も困っていました。ところが体験学習の後で、突然髪の毛が真っ黒になっていました。その子の体験学習後のアンケートを見てみると、「こんなに優しく抱っこされて育ってきたかと思うと、これまで自分のしてきたことが恥ずかしい。これからはお母さんを大事にして生きていきたい」と書かれています。私も先生も本当に驚いて、感動しています。その時、この体験学習がいかにか素晴らしいもので



この体験学習は、赤ちゃんを慈しむ心を育むだけでなく、周囲の人たちへの感謝の心を育む人間教育なのです

あるか、大きな手心えを感じました。そして、「この体験学習は、赤ちゃんを慈しむ心を育むだけでなく、両親をはじめとする周囲の人たちへの感謝の心を育む『人間教育』になる」と確信しました。これまで続けてこられた原点がそこにあります。また、最近では参加してくれるお母さんが昔体験学習を受けてくれた生徒だったというケースも出てきて、戻ってきてくれて嬉しく思うと同時に、私も年をとったなあ（笑）。長年続けてきて、生徒はもろろんのこと、私自身にとっても多くの学びがあります。これからも関係者のみなさんと協力しながら、この取り組みにお力添えしていきたいと思っています。



平成30年度 体験アンケートの結果(市内4中学校の体験生徒:192人)

【体験前アンケート】

「赤ちゃん」と聞いてイメージすることは何ですか？

- ポジティブな感想 130
- ネガティブな感想 70



【体験後アンケート】

赤ちゃんやお母さんとの触れ合いや、妊婦体験、松田先生の講義を通じて、赤ちゃんや子育てに対して感じたことは何ですか？

- ポジティブな感想 156
- ネガティブな感想 41

※ポジティブ、ネガティブ両方の意見を書いた生徒は、両方に計上していますので、合計が一致していません。

【体験前アンケート】

(ポジティブな感想の内容)

- 癒される ● 穏やかな気持ちになる
- 天使みたい ● 元気 ● よく笑う
- 肌がきれい

(ネガティブな感想の内容)

- 世話が大変 ● 弱い ● うるさい
- わがまま ● 接するのが難しい
- もし自分に子どもができて育てる自信がない



【体験後アンケート】

(ポジティブな感想の内容)

- 赤ちゃんに触れ合えて楽しかった
- 笑顔が可愛く、癒された ● 良い経験ができた
- お母さんから色々な話が聞けて、勉強になった
- 体が温かかった ● 一緒にいたら毎日楽しかったらうなと思った
- 自分の母親に感謝したい

(ネガティブな感想の内容)

- 泣かれてしまって、どうすればよいかわからなくなった
- 泣かれてショックだった ● 大変だった ● 戸惑った

体験前アンケート、体験後アンケートとも、赤ちゃんに対するイメージとして、ネガティブな感想よりもポジティブな感想を書いた生徒が多いです。

体験後のアンケート内容は、体験前アンケートと比較して次のような変化がみられます。

- 赤ちゃんや子育てに対して前向きな気持ちになり、ポジティブな感想が増えている
- ネガティブな感想だけを記入している生徒がほとんどいない
- 感想の内容が具体的になり、文章の量も多くなっている

また、体験後アンケートで特によく見られるのが、「自分の母親に感謝したい」という感想です。体験学習にやってきてくれた赤ちゃんとお母さんの愛情あふれる触れ合いを見て、「自分もこんなに愛されて育ってきたんだ」という嬉しい気持ちになったのでしょうか。体験学習を通じて、将来の育児にあこがれや夢を抱き、周囲の人々に感謝の気持ちを持ってもらいたいです。



医療保健課 保健師
浅野 泰子さん